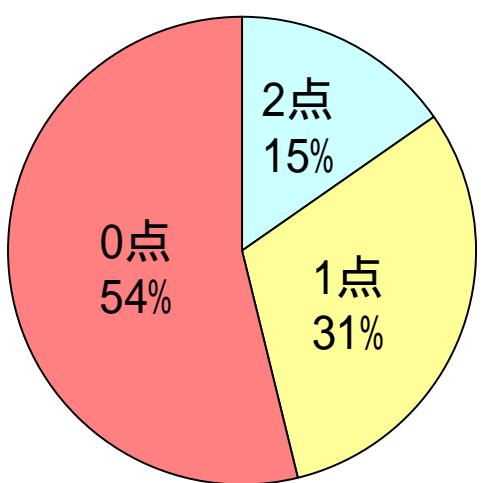


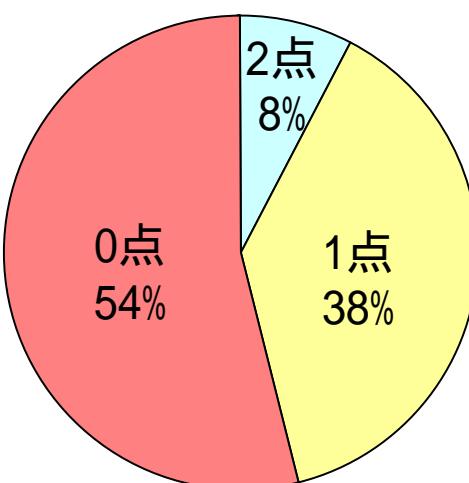
箕面キャンパスの結果

## 非言語(5点満点)



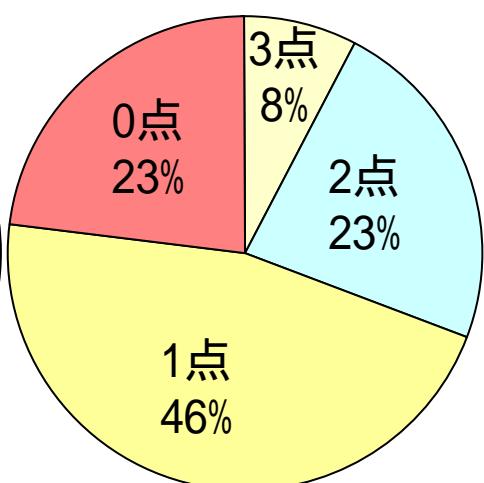
平均点 0.6 点

## 言語(5点満点)



平均点 0.5 点

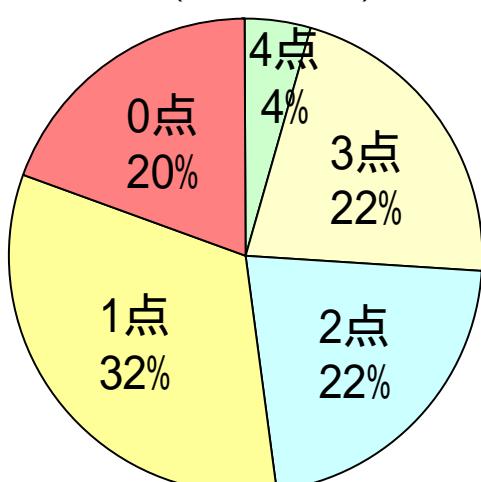
## 合計(10点満点)



平均点 1.1 点

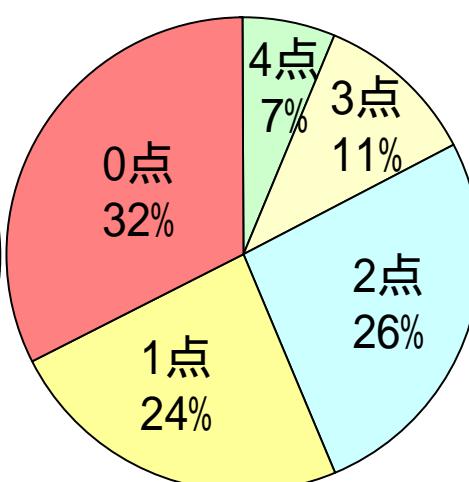
豊中キャンパスの結果

## 非言語(5点満点)



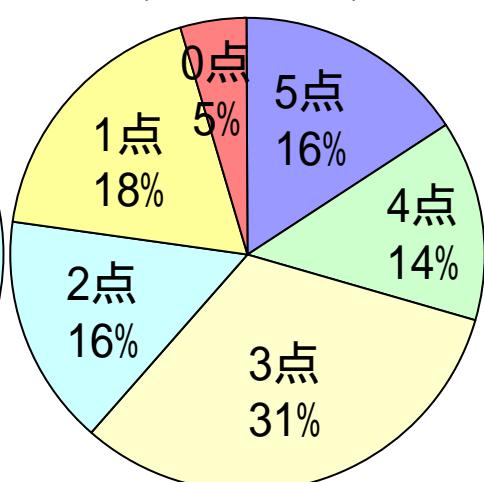
平均点 1.6 点

## 言語(5点満点)



平均点 1.3 点

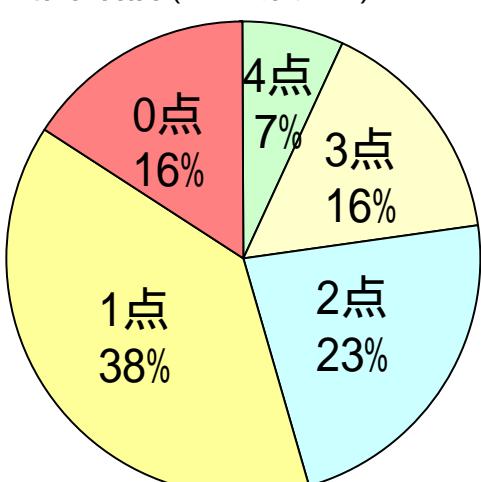
## 合計(10点満点)



平均点 2.9 点

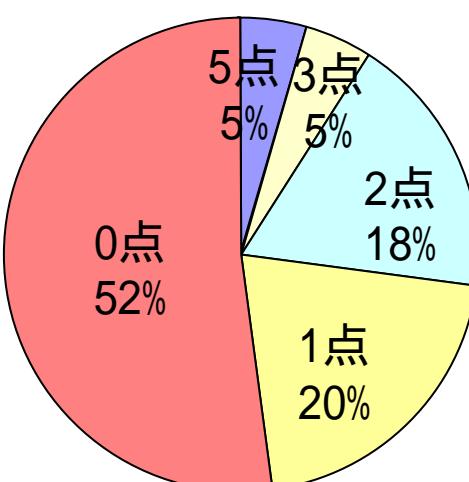
吹田キャンパスの結果

## 非言語(5点満点)



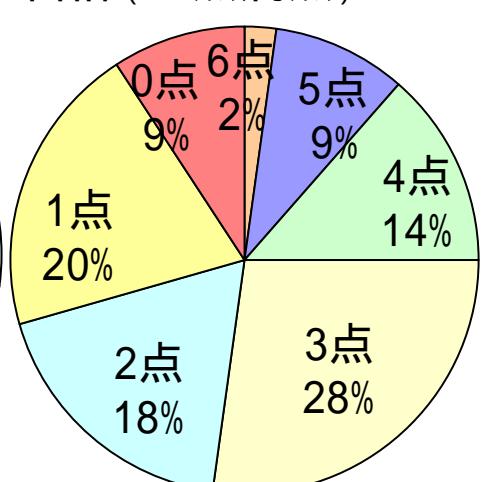
平均点 1.6 点

## 言語(5点満点)



平均点 0.9 点

## 合計(10点満点)



平均点 2.5 点

# データから読み取れること

1. いずれのキャンパスも筆記試験対策が非常に不足している。
2. 箕面キャンパスは、非言語・言語ともに半数以上が 0 点という結果である。これは偏差値の低い私立大学と同レベルである。
3. 吹田キャンパスの半数以上が、言語分野で 0 点である。
4. 阪大生なら、合計得点で 6 点は取る必要があるが、平均点は 3 点に満たなかった。
5. アンケート内容から、SPI 対策を全くしていない人が非常に多いことが分かった。
6. しかしながら、阪大生は、対策さえすれば得点は伸びると考えられる。今すぐ、問題集を購入して取り組むべきである。

以上

## （感想）

国立大学での SPI 講義は初めてでしたが、阪大生なら、もっと得点が取れると思っていました。しかし、この 3 日間の結果からは、その考えは甘かったことがわかりました。ぜひ彼らには、錆び付いた頭脳を活性化させて大学受験時点に近い状態に戻して欲しいと思います。そうすれば、筆記試験で落とされることなどないでしょう。